

## 「コロナ禍のニューノーマル」

昨年度の4月、緊急事態宣言が発令され、幼稚園を休園せざるを得なくなった頃、子供たちは元気になっているかな、様子が知りたいな、休園していても保育を継続する方法はないかなと模索しながら動画配信やオンライン保育を始めました。これらの取り組みは今やニューノーマルとして定着しつつあり、さらにいろいろな方法で活用するようになりました。

ライブ配信や録画動画の配信、オンライン保育を行ってきて、新たに気付いたことや、子供たちにとって、より良くなったことがありました。一つ目は、毎日の登園が叶わず、欠席している友達と一緒に、誕生日会や集まり、発表会を楽しむことができ、どんな状況でも繋がることのできるということです。二つ目は、ネットを通して繋がれるようになってからもやはり、手を繋いだり、抱きしめたり、目の前にいて一緒に触れ合えることが何よりも大切だと実感したことです。私自身も、ある男の子が、やっと登園でき久しぶりに会えた時は、嬉しく、ぎゅっと抱きしめました。きっと久しぶりの登園でドキドキしたとは思いますが、登園前の日にオンラインで一緒に活動をしたこともあり、緊張している様子はあまり見られず、とても楽しそうに過ごしている姿がありました。クラスの皆もお友達に嬉しそうに「お帰り！」と声を掛けていました。これはオンラインで繋がっていたからこそ、掛けられた言葉だと思いました。

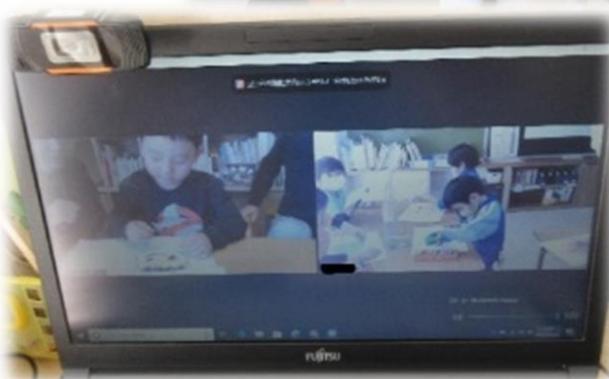
この他にも「コロナ禍のニューノーマル」として定着してきたからこそ新たに気付いたことや、子供たちにとってよりよくなったことを見極めながら、子供たちの成長を見守っていきたいと思います。

幼稚園



第64号

【1面】	幼稚園	目次
【2面】	小学校	
【3面】	中学校	
【4面】	高等専修学校	



# 小学校

## コロナ禍で変わったこと

### 「iPadの充実」

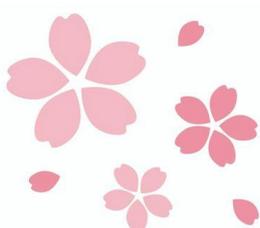
昨年まで一学年で一クラス分のiPadしか数がありませんでした。しかし、今年になってiPadをたくさん買っていただき、A B組は一人一台となりました。一クラス分のiPadしかなかったときは、ほかの友達が使っていたり、片方のクラスが授業で使っていたりすることが多く、自由に使えないことがありました。また、共有しているのです、コロナ禍のため、使うたびに消毒をしなければなりません。しかし、一人一台になってからは、このような点が改善されてより効率的に授業が進むようになりました。C D E組は、iPadで季節の便りを作ったり、アプリを使って学習をすすめたりと、様々な授業で取り入れることができました。世の中でもICT化が進んできたので、これからのためにもiPadをうまく活用する事は大切だと思います。

### 「行事」

今年も新型コロナウイルスの影響で例年とは少し変わった形で学校の行事が行われました。なかでも、体育祭は午前中だけ行われ、感染対策でなくなった競技もありました。しかし、新しい競技もできました。とくに、六年生が行った全員リレーでは、チームのきずなが深まり、とても盛り上がった人気の競技でした。体育祭を見ることができたのは各家庭一人だったためユーチューブによるライブ配信がありました。それにより、遠くに住んでいるおじいちゃん、おばあちゃんも体育祭の様子を見ることができ、たくさん応援してもらうことができました。行事のあり方が変わっても何事にも精一杯、取り組むことができますのは、僕たち、東っ子の良さだと思います。

## 英語室が三つになりました！

今年の夏に、英語室が三部屋になりました。英語室の名前にはそれぞれ意味が込められています。一・二年生が使うのは「E-Root（根）」、三～六年生が使うのが「E-Stem（幹）」・「E-Leaf（葉）」といえます。それぞれ根・茎・葉という意味で、木のようにどんどん成長してほしいという意味が込められています。英語室が増えたことにより、机の高さが学年により違って、とても勉強がしやすくなりました。また、コロナウイルスにより全員授業を教室でやらざるおえない状況だったけれど、英語室をつなげることで、全員授業が可能となりました。現在外国との交流が盛んになっているので、英語に力を入れることができ、とてもよいと思いました。



会長 竹内 昂  
副会長 洪谷 芙喜子

山崎 理緒

コロナ禍で様々な制約のあった今年度。しかしその中でも東中生はピンチをチャンスに変え、新しい行事の形を作ってきました。今回はコロナ禍において「できることを工夫して行う」という中学校のニューノーマルを紹介していきたいと思います！

# NEW NORMAL

## <行事>

### ◎学園祭

今年は全員が何らかの形で発表をする学園祭となりました。1ABは探究科のゼミ発表、2ABは探究科の個人プレゼンテーション、3ABはSDGsについての個人発表です。事前に何度も練習を行い、スライドの構成や声の大きさ、目線など友だちや先生方からアドバイスをもらい、当日に向けて完成度を高めることができました。

CDE組の劇では、練習中はマスクにより顔の表情で表現することは難しかったのですが、その分、身振り手振りと声の調子を工夫しながら演じました。また今年は例年通り、AB組の生徒が大道具を担いました。担当した生徒からは「CDE組の友だちの努力を知っているからこそ、舞台袖から見る演技は一層輝いて見えた。」との声があり、CDE組の生徒もAB組の友だちからの応援で演技に一層力が入った様子でした。これは昨年度できなかったからこそ気づきでした。



### ◎発表会

AB組の音楽の部では例年、リコーダーの合奏をしていましたが、今年は感染拡大防止のため、それぞれが異なる打楽器を担当しました。限られた練習時間の中で合わせるのが大変でしたが、一人ひとりが自分のパートに責任を持って演奏することができました。CDE組の合唱ではマスクをつけながらも客席に声を届けるよう努めるとともに、合わせる回数が少ない中で一回一回の練習に集中して取り組みました。

体育・ダンスの部はマスクをつけながらの練習。とても大変でしたが、友だちとの距離を保ちながら打ち込んだ練習で精神的にも鍛えられたと感じています。CDE組は集団での大技を成功させるため、選抜メンバーは昼休みや放課後にも練習しました。武道の部では例年、2人で型を組んでいましたが、感染防止のため一人技を極めました。ダンスの部では手具を持って踊り、友だちとの距離をとりながら自分の立ち位置を例年以上に意識できました。

「ニューノーマル」となるか分かりませんが、工夫しながら新しい形で今年度の行事をやり遂げたことは私たちの自信となっています。自分の役割に責任を持ちながら周りにも気を配ることで視野を広げ、個の力を高めることができた経験となりました。

## <友愛会活動>

中学校では、Chromebookを活用して委員会活動が進められています。委員会を対面式で開くのは難しい状況でもMeetやJamboardを使用して互いの意見を共有するよう工夫しました。「自分の意見を相手に伝えやすい」「委員会で意見を共有するだけでなく、メモとして形に残しておくことができる」などのメリットがあります。今後も、コロナ禍においても活動範囲を狭めないように、積極的に意見を出し合い、校内や委員会の活性化に繋がられるようにしたいです。

議題の決定 議事録の作成	議事録の共有 議事録の共有								
-----------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------

※Jamboardを利用した話し合いの例

# コロナ禍での NEW ノーマル



## 世の中の変化

- ・ 人との間隔をなるべくあける  
→ 3密（密集、密接、密閉）をしっかり守り、感染拡大を防ごう！！
- ・ 外出の際のマスク着用の徹底  
→ 飛沫を他人に飛ばさない！ うつさない！！
- ・ 食事のデリバリー、買い物の通販の利用者が急増  
→ 感染リスクを減らすために外出を控えよう。



## 手洗い、消毒の徹底

## 学校生活での変化

→ 特に教室移動の際には、いろいろなところに触れたりするので、菌を持ち込まないように。

座席の間隔をあける → 隣の人との間隔は、1m以上。休み時間に近寄りすぎないことが課題だね。

毎朝の体温チェック → 発熱、風邪などの症状の確認。異変があれば自宅療養。

## 嫌なことがあったときの対応

コンビニでおいしいものをバンバン買う。  
(おかげで少し体重オーバー) 2年 S.T さん

体を動かしたり、自分の趣味に没頭する。  
(自由な時間が増えたことで、自分を見つめなおすきっかけとなった・・・かな) 2年 H.K 君

友達と話したり、音楽を聴いたりする。  
(音楽のレパートリーが増えた) 2年 S.N さん

## 入学前の自分に伝えたいこと

最後の学生生活。いろいろなことがあったけど、楽しかったので安心してください。

3年 M.M さん

部活も勉強も  
すごく楽しいよ！  
1年 E.M さん

やったことのないことも続けられ、  
できるようになるよ。新しいこと  
にどんどん挑戦してみれば！

2年 N.H 君

## 編集後記

皆さん、こんにちは。今回も多くの方のご協力のおかげで無事に完成することができました。ありがとうございました。「友愛のつばき」は今回で64号を迎えました。これからもこの学園のつながりが途切れることのないよう後輩にしっかりバトンタッチして未来に繋げていきます。応援のほどよろしくお願いします。

友愛会会長 3年 石渡 結衣